



## 外に出るといふこと

代表 大森正子

チームりかすて主催「ふまねっと運動」が始まってちょうど1年になりました。運動とレクリエーションを兼ねた「ふまねっと運動」は脳を最大限に使います。皆の知っている前で行うため緊張も半端ではありません。でも多くの方が『楽しかった!』とおっしゃいます。ウォーキングや音楽を楽しむ会など、高齢者が外に出る時、お友達と一緒にという方が多いようです。これに対し「ふまねっと運動」はお一人での参加が結構います。運動が目的なので人と話すのが苦手でも参加しやすいでしょう。でもネットを歩ききった時の喜びとハイタッチ、ステップでまごついている方への応援、上手にできた方への賛美等々、運動時間中はいつしか仲間になっています。外に出るといふことは人とつながること。人とつながることは社会とつながっていること。これまでの生き方・性格・好みは人様々、いろいろな人にあつた“外に出る”イベント、市内各地に作られるといいですね。



## 「俳句」でつながるまち

第8回先生 瓜生宏司さん

市民提案による「まちづくり」として企画・運営に臨んだ石田波郷俳句大会、その成果は、どう評価されるのか、興味深いところです。

企画の発端は、清瀬の療養所で亡くなられた昭和の俳聖「石田波郷」の没後40年を記念して俳句大会をやらうと清瀬在住の俳人・大山雅由氏（2013年没）から清瀬稲門会（早大校友会）への提案から始まります。波郷の名前を冠にするのであれば、一つの俳句大会として地域の自己完結で終わるのではなく、広く発信力をもって、市民が誇りとする文化の循環を生み出したいと考えました。

清瀬では療養俳句として知られる波郷ですが、波郷はまた、24歳で俳誌「鶴」を主宰し、その作品の青春性が高く評価されています。俳句人口が高齢化する一方、愛媛松山で行われている「俳句甲子園」が熱を帯びてき

ています。清瀬の大会では波郷の名前を前面に、30歳以下を対象とした新人賞を企画し、波郷のご子息・修大氏の賛同を得て実現しました。選者の俳人の方々の情熱、入賞者の活躍もあつて、今では俳壇への登竜門として高く評価されています。あわせて、地元の小中学生にこの文化を浸透させる対策にも知恵をしぼって取り組み、委員会にジュニア部会を設けて、出前授業、放課後こども教室、サタデースクールと活動を広げてきました。大手新聞も、毎回とりあげてくれるまでに成長してきました。

石田波郷俳句大会は、清瀬市石田波郷俳句大会実行委員会主催によるものです。ところで、この実行委員なるものは何者なのか。ここで、この大会の市民と行政との協働のあり方について触れたいと思います。清瀬は他市に比べ協働の考えが浸透している方だと言われていますが、まだ、成長の過程にあります。その題材として、この大会は格好の事例といえるでしょう。

対外的には市の主催行事であることから、投句先、受付窓口、小中学校のスケジュール管理、大会の会場手当などの実務を行政が行い、その他の渉外、マスコミ対応、選者との連携、選考実務、出前授業の実施、作品集の作成などボランティアに位置づけられる「実行委員会」が対応しています。実行委員は市の意向とは関係なく、発起人の努力で参集した人々で構成され、今も広く参加を呼び掛けてきています。

当大会は、両者のやる気にささえられ、「協働」はそれなりに成果を上げていますが、現実の課題も多々あります。ここでの指摘は、さらに精査したうえで発言をしたいと思います。

今後も「西の松山、東の清瀬」と俳句のまちを目指して、知恵を出していく覚悟です。

（清瀬市石田波郷俳句大会実行委員）

COFUNEは、Community FUREAI Netの短縮形で『こふね』と呼びます。『私も先生!』プロジェクトで報告された資料は、COFUNEのホームページにて掲載しておりますので、ご覧になってください。



私も先生！第10弾

# 美しい清瀬の自然

～守り残したい市民の宝～

清瀬の自然を守る会 渡邊正宏さん

1月17日(日) 10:00~11:45

清瀬けやきホール1Fセミナールーム



## 市民の健康を守る会



第1回公開会議「清瀬市のたばこ対策を考える」

2月13日(土) 14:00~16:00

清瀬けやきホール、2F 第3会議室

【申込】090-6009-4474 (大森)



### 「高齢者なんでも相談室」

毎月第2日曜日 10:30~12:00 要予約

(090-6009-4474)、無料 COFUNE 事務所

大森 (社会福祉士、精神保健福祉士)

再放  
戻りたいよね  
みる側も  
白老人  
ふれあいネット  
MATSUYAMA、  
掲載川柳より



左 左 左  
右 右 右

# ふまねっと運動

12月15日(火) 下宿地域市民センター

2月16日(火) 中清戸地域市民センター

いずれも 14:00~16:00

【申込】村松 Tel: 090-5766-0953

ふまねっと運動を実施したい場所がある方、サポーターの資格を取りたい方、ご連絡ください。

## ふまねっと in 竹丘

毎月第3金曜日 竹丘地域市民センター

いずれも 14:00~16:00

【申込】竹丘センター Tel: 042-495-1717

ふれあいど〜り松山サロン 毎月第1土曜日  
松山老人憩いの家、11:00~14:30 50円

1/2はお休みです



『連載』コラム紹介： 会員の鹿住さんは細菌検査の専門家です。数回シリーズで小説より面白い「結核菌の話」の寄稿をお願いしています。第6話は・・・菌？

### 結核菌の話 第6話



#### エッ！そんなに若かったんですか？



結核が今年度のAC ジャパン (旧公共広告機構) の支援キャンペーンに採用され、新聞・雑誌だけでなく、テレビにラジオ、ポスターも貼られています。ポスターの中央にはストップ結核ボランティア大使であるファッションモデルのJOY (ジョイ) さんが立ち、後ろに石川啄木、正岡子規、滝廉太郎、樋口一葉の写真が並んでいます。これらの人の共通点は結核です。JOYさんは26歳の時(2011年)

結核に罹り入院しましたが、今はお元気です。しかし、石川啄木は26歳、正岡子規は34歳、滝廉太郎は23歳、樋口一葉は24歳で結核で亡くなり、あまりの若さにびっくりです。(AC ジャパンより)

K (鹿住) \ (。〜。)/

後世に残る仕事をねえ

事務局：コミュニティふれあいネット (COFUNE) 大森正子  
〒204-0021 清瀬市元町1-8-20 エスタ清瀬 403  
Tel: 090-6009-4474 Mail: cofune\_kiyose@yahoo.co.jp

URL: <http://cofune.net>

会員募集  
COFUNE活動に賛同していただける方、連絡を！  
会費無料

